

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	大垣市立東中学校		
実 施 期 間	平成25年10月27日(日)～11月24日(日)		
実 施 概 要	①宮城県震災ボランティアから学ぶ 「ここから これから」～人と人とのつながり～ ②校区地区センターまつり等 参加 (合唱部・吹奏楽演奏、美術作品展示) ③PTA資源回収		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	194人	計 203人
	地域関係者	9人	
実 施 状 況	①宮城県震災ボランティアから学ぶ 「ここから これから」～人と人とのつながり～ 講 師 宮城県栗原市社会福祉協議会主事 佐藤 一繁 氏 内 容 自らも震災体験をもちながら、震災時にボランティア活動のコーディネートを行って見える方から、体験を通したボランティア活動の在り方や、学校や地域における人のつながりについて、全校生徒・保護者と共に学んだ。 ②校区における地区センターまつり等 参加 校区内の各地区のセンターまつりなどに、合唱部や吹奏楽部が参加し、演奏披露した。また、授業で作成した生徒の美術作品を展示した。		
成 果 及 び 課 題	生徒はこれまで、生徒会による宮城県気仙沼との交流活動、希望者による夏まつり清掃ボランティアなどの活動体験を積み上げてきている。震災現地でボランティア活動の中心となって活動してみえる方から、ボランティア活動や地域での人と人とのつながりについての講話を直接聞くことにより、地域の方や学校の仲間と力を合わせて活動していくことの大切さについて学ぶことができた。 参加した保護者や地域の方々からは、「実際に震災を体験された方のお話を聞いたのは初めてでした。」「何が必要なことなのかを考えさせられ、とても身が引き締まる思いがした。」「今の自分たちには、どんなつながりがあるのか、どうつながっていけばよいのかについて考えさせられた。」「今の時代、自分のことばかり考えている人が多い中で、人と人とのつながりの大切さを改めて考えさせられた。子どもと話し合う機会が作れそうです。」などの感想や意見が聞かれた。		